

競技者注意事項

1 本大会は、2022年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項により実施する。なお宮崎陸協が作成した「新型コロナウイルスに対する大会参加に関する留意点」を遵守すること。3密にならないよう十分注意し、アップ中・競技中以外のマスクの着用や手洗い等励行すること。

2 招集について

- (1) 招集所での招集は行わない。欠場の意思の確認は、欠場届の提出で行う。
- (2) 競技者は、招集時刻にトラック競技はスタート位置、フィールド競技はそれぞれの競技の待機場所で点呼を受ける。退場は競技役員の指示による。
- (3) リレー競技は、招集所での招集を行う。招集所は、第4コーナー避難タワー下に設ける。
《フィールド競技の待機場所》
 - ・走高跳：Bゾーン（競技場北側フィールド）・棒高跳：バックスタンド前
 - ・走幅跳：雨天練習場 ・投てき競技：Aゾーン（競技場南側フィールド）
- (4) 招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始15分前	競技開始10分前
投てき競技	競技開始30分前	競技開始20分前
跳躍競技	競技開始40分前	競技開始30分前
棒高跳	競技開始50分前	競技開始40分前

※競技者は、競技順序記載の該当する組の競技時刻に合わせて、点呼を受けること。

- (5) 招集完了時刻に遅れたものは欠場とみなし、出場を認めない。（但し、他種目に出場中は代理でも可）
- (6) リレーのオーダー用紙は当該種目、第1組目の招集完了時刻1時間前までに、招集所に提出すること。オーダー用紙はTICに準備する。

3 番組編成について（レーン順・試技順）

トラック競技のレーン順とフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の各競技者の登録番号の左に数字で示す。

4 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

- (1) バーの上げ方については、次のとおりとする。

走高跳	男子	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	以後3cm
	女子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	以後3cm		
棒高跳	男子	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	以後10cm				

- (2) 練習開始の高さは、走高跳男子1m20、同女子1m05、棒高跳1m70とする。
- (3) バーの上げ方、開始時の高さについては、天候その他の特殊事情によって、審判長・専門委員長が変更する場合がある。

5 ハードル競技のインターバルについて

性別	種目	ハードルの高さ	インターバル			ハードル台数
			スタートから1	ハードル間	最終ハードルからゴ	
男子	110mH	91.4cm	13.72m	9.14m	14.02m	10台
	100mH	84.0cm	13.00m	8.50m	10.50m	10台
女子	100mH	76.2cm	13.00m	8.00m	15.00m	10台
	80mH	76.2cm	12.00m	7.50m	15.50m	8台

6 学校対抗得点について

- (1) 得点は1位6点、2位5点とし、以下1点ずつ減じ6位を1点とする。
- (2) 1校から3名以上出場している種目の学校対抗の得点は、その学校の上位3名までの得点を計上する。
- (3) 学校対抗の得点が同点の場合は、優勝種目数で上位を決定する。また、優勝種目数が同じ場合は、2位種目数→3位種目数→・・・6位種目数の順で、上位を決定する。

7 県大会出場について

- (1) 各種目の上位10名（各学校同一種目3名まで）、リレーは10チームが出場権を得る。
- (2) 県大会出場者は、決勝進出者8名と、予選タイム9位・10位の選手とする。ただし、予選がない種目については、記録が残らない限り県大会への出場権は与えないものとする。また、トラック競技において、10位が同記録、同着で複数いる場合は、1000分の1まで計測し、順位を判定する。それでも同じ場合は、県大会出場決定レースを行う。
- (3) 走高跳、棒高跳において、県大会出場枠の10位が同記録で複数いる場合は、競技規則に則り審議し、10位決定戦を行う。